

令和５年度 芳賀町学校運営協議会(分科会)会議録			
日 時	令和５年 ６月２６日（月） １３：３０ ～ １５：２０		
場 所	芳賀中学校 多目的室		
出席者	[学校運営協議会委員] 稲川 浩司、小林佐知子、佐藤 和洋、岡田由美子、今井 由佳 岩村 智織、広田マリ子、中山このみ、水田 晴美、岩崎 進、 荒井 一浩、小山 佳子、今西 雅子 (協議会委員出席 １３名)		
	[学校関係出席者] 山本 守、柳 利道、鶴見 優希 (学校関係者出席 ３名)		
司 会	教頭	書 記	教頭
概 要	１ 開会 ２ あいさつ（学校運営協議会会長、学校長） ３ 授業参観（３－３英語） ４ 地域と共にある学校づくりに関する意見交換（自己紹介も含む） ５ 閉会		
協議事項			
○ 学校長からの説明（別紙資料あり） ・ 今後の学校行事など（郡市総体結果も含む） ・ 今までの地域との関わり（お掃除応援隊、ボランティア活動への参加） ・ 今後の関わり（地域の祭りへの参加呼びかけ、プロジェクトH２の協力依頼、はがまるふるさと大学、体育祭、文化発表会の開催、部活動地域移行に対する課題）			
○ 地域と共にある学校づくりに関する意見交換（自己紹介も含む） 稲川……学校運営協議会、「地域をどうしていきたいか」を考えていきたい。英語の授業がたのしうだった。プロジェクトH２、地域と一緒に進めるとよいと思う。 小林……プロジェクトH２楽しみにしている。立志の船を今後も継続してほしい。 佐藤……ソフトテニス部や部活動の活躍がOBとして誇らしい。立志の船の始まりは私の代。今の英語はインパクトあるが、自分だったらついていけるか心配。 岡田……茨城県稲敷市新利根公民館での講演会に参加。公民館運営に中高生が１人ずつ参加していた。また、桜川市の講演会のイベントでも２０人の中学生が参加していた。町が中学生を取り込み、子供たちが町づくりに参加できるようになるとよい。 今井……昔の英語は、一方通行の英語だったが今は恵まれている。プレーパークしもたか、ボランティアの参加を待っている。 岩村……英語の授業はたのしかったが、ついていけていない子もいるのでは？テストの平均点は低い。数英など、おいていかれている生徒のフォローも必要。夏休みの学習会は良かった。 広田……南小では、竹遊びとして日本の遊びを教えている。外国に行ったときに、話せなくても日本独自の話題があれば通じるものである。 中山……真岡東中に「制服リユース」の話を聞きに行った。ボランティアと中学生で「制服、運動着、柔道着、シューズ」などを回収し、修繕をして必要な生徒が利用できるシステムを作っ			

ている。(使えるものは使おうの精神) 毎週金曜日に集まり、作業をしている。展示してある部屋もある。ぜひ、芳賀中学校でも進めていったらどうか。(以前、芳賀中でも体育祭で収集し、文化発表会のバザーで販売した事がある：稲川談)

水田……「制服リユース」のアイディアはいい。新聞などで協力を呼びかけてはどうか。

岩崎……NPOで小学生向けのプログラミング研修などを行っている。職員の長時間勤務の改善に向けて、時間外の電話対応等、テレフォンセンターなどを活用するなども検討してはどうか。

荒井……プロジェクトHへの協力を自治会へ呼びかけしてほしい。また、地域の行事へも参加してほしい。

小山……子育て支援センターで親子、幼児を対象に講習会を開いている。中学生のボランティアの参加が少ないので、呼びかけてほしい。「制服リユース」の件では、足利市では、学校ではなく、ホテルに展示して行っている地区がある。

今西……子どもが、吹奏楽部だったが、学校に顔を出しにいきたいが、先生方の異動によりOB、OGが行きづらくなってきた。

岡田……「親学習プログラム」で、芳賀町ファシリテーターをしている。家庭教育学級などで利用してもよいのではないかと。親が安心できれば、子どもも安心できると思う。

小林……親子で地域を作る。学校を核とした地域作り、地域が主体となって動き、子どもが地域に出て行くために、関心をもたせたい。

学校から……現在の学校の課題は、不登校と保健室登校。特に保健室登校が多く、養護教諭の負担が大きい。対応できる部屋の確保と対応できる人員の確保が課題となっている。

部屋が確保でき、掃除や荷物移動の人員が必要なら、運営協議会委員で手伝いの協力をするとの申し出もあり、部屋で話をしたり、ただ見守りをしたりするだけだったら協力をしたいとの申し出もあった。今後検討していきたい。

今後、プロジェクトH2で学校・地域連携して取り組みたい。また、「制服リユース」なども、保護者や協議会委員が中心になって、進めていきたいとの申し出もあったので検討したい。

学校も地域の祭り、行事などに出て行けるようにしていきたい。

保健室登校の対応についても、検討をしていきたい。